令和４年度 技術・家庭科（家庭分野） 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）成果

・全学年落ち着いて授業を進めることができた。
・可能な限り被服実習、調理実習の実施、ＩＣＴを活用した学習を積極的に取り入れた。
・調理実習を実施することにより、家庭で料理を実践している生徒が増えた。

（２）課題

・得意不得意に差があり、個別指導が丁寧にできないときがある
・調理実習の回数が少ない。品数が少ない。
・ＩＣＴ教材を効率よく活用し、持続可能な教材開発に取り組む。

２　授業改善のポイント（観点別）

（１）知識・技能

・見通しをもち、実践可能な基礎的・基本的な知識・技能を習得できる授業の提示。
家庭学習課題・物の製作・調べ学習・発表活動・近隣保育園との幼児交流等。
・３年間で調理の基礎的・基本的技術の習得を図る。感染症対策を実施したうえで、調理実習を行う。家庭で実習可能な課題を検討し、取り入れる。
・布を用いた製作を、各学年で段階的に取り入れる。
第１学年…ブックカバー製作
第２学年…トートバッグ製作
第３学年…幼児のための布絵本製作
衣服の修復に必要なボタン付け・まつり縫いの技術を身に付けさせる。

（２）思考・ 判断・ 表現

・作品は、デザインから考えさせ、創造力の育成に努める。
・「自分だったらどうするか？」という視点で、当事者意識をもたせる。自分の得意な学習方法で学ぶ機会を取り入れる。

（３）主体的に取り組む態度

・学習した成果を発揮できる場面を多く設定するため、清陵祭での作品展示や作品発表会、レポート課題で作品と向き合う時間をとる。
・発表活動を多く取り入れ、自身の意見を伝え共有し、友達の意見を参考にする。